

BLUE RED BLUE

2006 年 12 月 1 日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：神戸市中央区海岸通 8
神港ビルヂング 5 階 509
TEL：078 - 393 - 0050
FAX：078 - 393 - 0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

～ 11 月例会報告 ～

佐藤 保久(昭 41 商)

17 日 18 時 30 分、徳丸幹事長の軽妙な司会で例会スタート。出席者は、阪本会長以下 16 名。

今回も、前月に続きゲストスピ - カ - をお招きしての例会となった。

講師は、日興コ - ディアル証券株式会社神戸支店ライフ・コンサルタント宮川侑子会員(平成 18 年商学部卒)。テーマは、「変額年金保険の活用 - 相続・贈与 - 」

講演要旨は、以下のとおり。

保険といえば、事故に対する備えがポイント。しかし、現在では、運用を目的とする金融商品といってもよい保険商品が脚光を浴びている。すなわち、一時払個人年金保険である。その目的は、利殖と節税。



特に、相続税法第 12 条 - 法定相続人が取得した生命保険金の非課税枠、同 24 条確定年金の評価割合、を有効活用すると節税出来るケースがある。

ちなみに、講師のお勧めは、自社の商品とのこと。

金融自由化の進展を背景とし、銀行や証券会社の店頭でも保険商品を購入できるようになったわけだが、そうした保険商品のなかで、一時払個人年金保険は、各方面から“最も売上が伸びている保険商品”というよりも“金融商品”として紹介されることが多い。

今回講師は、人気の秘密が、運用・節税の両機能にあると解説されていた。時間の関係から同商品のもつリスクに関しての言及はなかったが、この部分は自己責任と理解しておきたい。

スピーチ終了後は、「平成 18 年卒って、今年入社の人や。半年余りで、あんなに堂々と話が出来るなんて」と娘の成長を見守る父親視線の話に花が咲いていた。

(なお、当日講師が配布された資料「大切な資産

を守る相続・贈与デ - タ & ガイド」, 「優雅な人生へのパスポート」2 点は事務局に若干の残部がありますので、娘の成長いや失礼しました、個人年金にご興味のある方は、倶楽部までお運び下さい。)

《執筆後記》

突然ですが、執筆者の自己紹介をさせていただきます。職歴は、卒業後明治生命保険入社、平成 10 年香川大学経済学部教授、18 年流通科学大学商学部教授です。


神戸での生活(自宅が東京のため単身赴任)にも慣れ、14 日付をもって神戸慶應倶楽部に入会させていただきました。ご出席の先輩会員から、突然「今日の報告は、新入会員の佐藤君」といわれ、反射的に「はい」と返事をしてしまいました。「1 年違えばムシケラ同然」という体育会育ちの悪癖がでてしまい大反省しております。

今後とも、ご指導の程宜しくお願い致します。

～ クリスマスパーティのご案内 ～

12 月 9 日(土)午後 6 時半より

神戸ポートピアホテルのグルメとミニコンサート、そしてオークションを存分にお楽しみください。

 文ちゃんの名言

「此处は買い物をする所ではない。どれだけ塾を愛しているかを示す場所です！」

皆さま、バラエティに富んだたくさんの品物のご提供とお買上げをよろしく申し上げます。

なお、11 月号でご案内の通り 11 月末で申込を締め切りましたが、詳しくは事務局にお問い合わせください。

『人生の愉しみ』終章 「生き甲斐」について

五代 友和 (昭37商)

「生き甲斐ってというのは健康であってこそ話よね」

過日九十八才の天寿を全うした母が私を諭すように言ったのが耳に強く残っています。人が生を受け、晩年に至るまでの間、学び、働きそして趣味に励んだりの繰り返しをするわけですが、この「生き甲斐」「働き甲斐」というのは一体どんなことを指すのでしょうか。

あなたは何を生きがいにしていますかと問われた時、あなたは何と答えますか。「家族」だと答える人、「仕事」だと答える人、「趣味の盆栽」だと答える人、何であれ、そんな具合にすぐに答えられる人は幸せなのかも知れません。あれも生きがい、これも生きがいという意味ですぐに答えの出ない人もいるかも知れませんが、サミエル・ウルマンではありませんが、夢を失くした時に老いは始まるでしょうし、生きがいを持たなければ早く老いてしまうのではないのでしょうか。

あまり自分の年令のことは考えたくもないし言いたくありませんが、今年で

満六十七才を迎えました。勿論、いわゆる戦前の生まれですから、小さい頃は食べるものにも事欠く時代でした。米粒にはめったにお目にかかれない、主食は殆んど「さつまいも」でした。そんな日本中が貧しい時代から、この豊かになりすぎておかしくなってしまう今の時代まで、それでも一所懸命に生きて来ました。いや生かされて来ました。両親や兄弟、いろんな先生方や多くの先輩、友人、お取引先のいろんな方々に支えられて生かされてきたと思います。

人生も明らかに第四コーナーに入った今、一所懸命生きてきたけど、でも一体何を「生きがい」にして来たのかと自問した時、あれこれ迷っても尚、すつと答えが出て来ないんです。

仕事にしろ、趣味にしろ、家族のことにしろその時々精一杯努力して来たことは間違いなくとも、それが「生きがい」だったかと聞かれると自信がない。人生を生き生きと送るためには、まず第一に健康があり、それをベースにして「生き

がい」をしっかりと自分で見つけなければいけないでしょうね。それも趣味などで得られる喜びや楽しみも良いが、人のために何かをする、人のために何かを与えることが出来るのか、どうもこの辺が「生きがい」のポイントなのかも知れませんが、これがほんとの生き甲斐につながるもので、豊かな人生を送るための要点になるでしょう。

柄にもない生真面目なことを書いてしまいました。この「生き甲斐」を私なりに再発見して健康な心身をもとに、人生の愉しみをこれからも追いかけていきたいと思っています。



2005年11月号掲載
《今月の絵》

会員だより

“恋”してありますか？“愛”してありますか？

松尾 茂樹（昭 60 商）

12月になると世間はクリスマス・モードになり、恋人や夫婦や子供へのプレゼントに頭と財布を悩ませることとなる。

ところで、“恋”と“愛”とはどう違う？

- * “恋”は異性に対して使うが、“愛”は異性・同性にも使う。師弟愛・父子愛
- * “恋”は人に対してのみ使うが、“愛”はその対象を選ばない。
- * “恋”は一般に1人に対するが“愛”は複数同時に存在する。愛人、愛犬、家族愛、愛車、愛校、愛国・・・
- * “恋”は脳で考え、“愛”は心で感じる。
- * “恋”は意識してするもの。“愛”は無意識のうちに芽生えるもの。
- * “恋”はその相手と一緒にいるとドキドキする。“愛”はその相手と一緒にいるとホッとする。
- * “恋”すると外見を磨こうとする。“愛”すると内面を磨こうとする。
- * “愛”という漢字は真ん中に“心”があるが、“恋”という漢字は一番下に“心”がある。つまり下心があるということ。
- * “愛”はその相手に何かをしてあげよう、何かを与えようとする。
“恋”はその相手に何かをしてほしい、何かを求めようとする。
- * “愛”には駆け引きはないが、“恋”には駆け引きがある。
- * “愛”は見返りを求めないが、“恋”は見返りを求める。

私は“恋”する若さや新鮮さは、いつまでも持ち続けていたいかな・・・？

いじめ、自殺、誘拐、殺人など心苦しい事件の多い昨今、多くの“愛”を与えて、“愛”されている喜びを感じ、互いの“愛”を深め合っているようになりたいものですね。“母校愛”で結ばれている我々もより高め合えればいいですね。

皆様、来年もどうぞよろしく。よいお年を！

インド旅行

矢形 幸之助（平 3 法）

「はまると、またインドに行きたくなるぞ！」そう言われて、送り出されたこの夏のインド旅行。でも、1度で十分。

もっとも、楽しくなかったとか、面白くなかったというわけじゃありません。

そこに根ざす歴史物語は、遺跡を眺めているだけじゃ決して得られない貴重なものでした（ガイドさん、有り難う）。

『タージマハール物語』

タージマハールは、白い大理石に宝石が埋め込まれた美しい外観が有名ですが、宮殿ではなく皇帝シャー・ジャハンが、亡妻マハール（皇帝ジャハンの7番目の妻で、当時の奴隷階級の出身だそうです。）のために建てた霊廟（お墓）なんですね。このタージマハールの裏には川が流れていて、皇帝ジャハンは、向こう岸に黒の大理石で自らの霊廟を建築し、向こう側からは黒の、こちら側からは白の大理石で橋を渡し繋げることで永遠の愛を誓おうとしていたのです（向こう岸にはその跡地が今もありますよ）。

もっとも、この計画はあまりにお金がかかりすぎるといことで、第3皇子アウラングゼーブ帝の怒りに触れ、皇帝ジャハンはアグラ城に幽閉されてしまいます。

でも、この幽閉は皇帝ジャハン1人ではなく、マハールが生んだ娘が寄り添っていました。

娘は自分を生んだ14日後に母が世を去り、母のために霊廟を建てた父（皇帝ジャハン）は幽閉されていることに心を痛み、生涯父に寄り添うことを決心したのです。

皇帝ジャハンは、横に娘を置き一日中アグラ城から小さく見えるタージマハールを眺め、亡妻を想っていましたが、晩年高齢から視力が低下し、タージマハールが見えなくなってしまいました。

皇帝ジャハンを幽閉したアウラングゼーブ帝もさすがに皇帝ジャハンの余りの落ち込みように心を痛み、柱にダイヤモンドを埋め込んでダイヤモンドに映るタージマハールを見ることができるようにしてあげたのです。

黒の大理石の霊廟は完成をみませんでした、
今、皇帝ジャハンの横には亡妻マハールが寄り添
っているんでしょうね。

どうです、インドに行ってみたくになりました
か？そこには歴史だけじゃなく、恐らく 50 年前、
日本はこうであったろうと思うエネルギーな
世界もあります。

是非一度、インドを訪ねてみて下さい。そして
想い出話を聞かせて下さい。

ちよっぴん

高嶋 哲夫 (昭 48 工)

寒くなりました。
風邪をひかないよう、気をつけましょう。
うがいが一番。もっといいのは、外に出ないこと。
でも、難しいですね。

『アニマート 3』が発売されました。

これが最終回です。ぜひ・・・。

『ダーティー・ユー』(光文社文庫)の二刷りが
出ます。「いじめ」がまた、クローズアップされて
います。僕の書いたものの中でも、意義ある一冊
です。たくさんの子供たちが読んでくれて、少し
の勇気を持ってくれるとありがたいです。

『ミッドナイト・イーグル』(文春文庫)二刷り
が出ますが・・・もう出たのかな？

「重大な報告」またまた延びてしまいました。
あーあ。本当に、ごめんなさい。でも、順調に進
んでいるそうです。

同好会だより

囲碁同好会

11月10日(金)水戸夕香里 3段プロをお招きし
て指導碁の特別例会を開催。

3面打ちを2回。計6人がチャレンジ。6局ともな
かなかの熱戦。(にしてくれたのかも?)

1局1時間半という時間制限もあり、5局は終局ま
で行かず途中で形勢判断並びに講評。

「こう打てば黒が完全に勝ちだったわね・・・」
と解説が優しいんだよなー。

「うーん そうか！ 惜しかったなあ・・・」
不思議なことに今回は勝てそうな気がして来た。

「よし 次回頑張ろう」

そういえば前回も同じ思いだったなあ！

対局後、元町近くのバーで反省会。

まあ人生どこまで行っても反省の連続ですなあ。

次回の例会は12月1日(金) 皆様の参加お待ち
しています。 世話人：菊田義正(昭 42 商)

イーゼル会

今月の絵



八巻 晴郎 (昭 40 経)

KKJC

12月20日(水)忘年会ライブ開催

日時：12月20日(水) 18:30~

場所：ライブハウス「デイバイデイ」

会費：6,000円(豪華三段弁当とフリードリンク)

入会ご希望の方はご参加ください。

準備の都合上12月10日までにお申込ください。

詳細は近藤正世話人まで。 ludy@oak.ocn.ne.jp

PC同好会

しばらく休会になっており、メンバーの皆さま
にご迷惑をおかけしています。

どなたか「世話人代行」の役を引き受けていた
ける方はいらっしゃいませんか？

世話人：市川義人(昭 57 経)

会員の輪

Come-Back City

しずめ
鎮目 雅人（昭 60 経）

本年 4 月から参加させていただいている鎮目雅人です。日本銀行から神戸大学経済経営研究所に出向となり、初めて神戸に住むこととなりました。この 9 月にアメリカ・ペンシルバニア州のピッツバーグでの学会に参加して参りましたので、そのときの印象をご報告します。

ピッツバーグと聞くと、何を思い浮かべられますか？訪問前に私が思い浮かべていたのは、鉄鋼の町、工業都市・・・といった印象でした。でも、実際にみたピッツバーグは、町全体が清潔な公園のようなところでした。

ピッツバーグは、アパラチア山脈の西、ミシシッピ川の支流のオハイオ川の上流に位置しています。古くはインディアンとの交易で栄え、2 度の世界大戦を通じてアメリカの鉄鋼業の中心都市としての地位を不動のものにしました。その頃のピッツバーグは活気にあふれていましたが、一方でばい煙が充満し、行きかう車は昼でもライトをつけていなければならなかったそうです。第 2 次大戦直後の市長は「ルネサンス」と名付けた環境対策を熱心に進めたそうです。しかし、その解決は意外なかたちでもたらされました。1970 年代以降、アメリカの鉄鋼業はアジア諸国などとの競争に敗れ、衰退の途を辿り、ピッツバーグの製鉄所は次々と閉鎖され、いまでは市内に高炉は 1 基もないそうです。

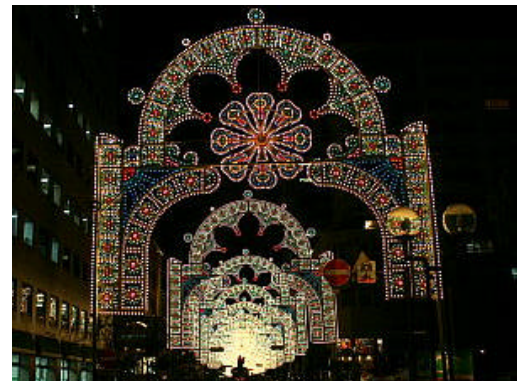
鉄鋼業の衰退は、ピッツバーグに澄んだ空を運んできましたが、街は活気を失いました。市の人口は 1950 年の 68 万人から 2000 年には 33 万人と半分以下に減ってしまいました。町の中心部や工場・倉庫の跡地は荒廃し、治安も悪化したようです。行きがけに偶然空港で一緒になったある学者は、「ピッツバーグの街中は危ないからあまり歩かない方がいいと人に言われた」と話していました。

実際には、現在のピッツバーグは産業の「ルネサンス」を迎えつつあり、ピッツバーグ大学、カーネギー・メロン大学などの研究施設を核として、医療、ロボット、金融産業など、知識集約型の産

業が集積しつつあるそうです。中心部では、古いビルが取り壊されて新しいビルの建設が始まっています。以前の工業地帯の周囲には、おしゃれなレストランが軒を並べ、川沿いの倉庫の跡は、地元の買い物客や観光客で賑わう市場になっていました。

一度広まったイメージを変えていくのは、なかなか難しいようですが、実際には、道を歩いていて怖い思いをしたこともなく、最近の調査では、全米で最も住みやすい町のひとつに挙げられるようになったと聞きました。

ピッツバーグでは、9 月初に現職の市長が病気で亡くなり、全米史上最も若い 26 歳の市長が誕生したばかりです。市民の中には、政治的な業績もなく大学を出て間もない市長の手腕に不安を感じる人もいるようですが、若さを武器に新しい風を吹き込むことを期待する声も聞かれました。神戸とは町の規模も置かれた環境も異なりますが、逆境の中で前向きさを失わず、たくましく生まれ変わろうとするピッツバーグの姿には、神戸と重なるものを覚えました。



倶楽部前から眺めた神戸ルミナリエ（昨年作品）

今年の開催は 12 月 8 日から 20 日まで

このコーナー、は新しく入会された方の自己紹介やご無沙汰会員の近況報告等を紹介する交流広場です。

普段、会の行事に出席できない方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。（編集部）



～ 新年合同月例会のお知らせ ～

(関西不動産三田会との合同月例会・新年会)

日時：2007年1月12日(金)

月例会：19:00～20:20

新年会：20:30～22:00

場所：西村屋和味旬彩(旧・三宮店)

神戸市中央区磯上通 7-1-20(そごう駐車場南)

阪神三宮駅 徒歩3分 JR三ノ宮駅 徒歩5分

http://www.nishimuraya-fc.com/home/wamishun_sai.html

会費：8,000円(H9卒以降及び女性は、5,000円)

オブザーバーは、各1,000円プラス

月例会のみ参加は無料

(オブザーバーは、1,000円)

講演：「都市再生の経済学～人口減少時代のまちづくり」

講師：加藤恵正氏(昭51経・兵庫県立大学 教授)

～ 事務局よりお願い ～

例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、お申し込み後に連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、その都度必ず事務局にお知らせください。

会員の皆さままでしどし原稿をお寄せください。「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

～ 今後の行事予定 ～

2007年1月5日(金) 賀詞交歓会 倶楽部ルーム

2月14日(水) 例会「にがり酒を楽しむ会」 場所未定

3月14日(水) 例会 東天閣

詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせいたしますので、毎月ご確認ください。

同好会の日程につきましては、各世話人にお問い合わせ下さい。

～ 大阪慶應倶楽部からのご案内 ～

福澤諭吉先生誕生記念祝賀会

日時：平成19年1月10日(水) 18:30～21:00
(受付開始：18:00)

会場：大阪リーガロイヤルホテル2階「山楽の間」
(大阪市北区中之島5-3-68 TEL 06-6448-1121)

会費：9,000円(平9卒以降は6,000円)
(ビジターは1000円プラス)

講演：慶應義塾 安西祐一郎塾長

お申込みは大阪慶應倶楽部事務局にお願いします。

TEL：06-6202-0516 FAX：06-6202-4185

編集後記

○先日、関西婦人三田会の行事で、奈良の飛鳥寺に出かけました。まさにレアナ古代のロマンに触れ、忘れかけていた歴史をおぼろげに思い出しました。石舞台を散策し、記念撮影のため三色旗を取ったところ、自転車で全国を廻つているといふ青年が近寄つて来て、こんな所で塾の先輩たちにお目にかかるなんて、と感激しつつシャッターを押してくれました。この先アルバイトをしながら更に西に向かうという。長丁場の旅で人生の何かを見つけて行くことというのでしよう。頼もしい爽やかな青年に出会い、そして紅葉も楽しんだ秋のほっこりした一日でした。(ほ)